

### 大鳴門橋記念館うずしお科学館リニューアル

大鳴門橋記念館「うずしお科学館」のリニューアル改修工事がこのほど完成し、3月18日からリニューアルオープンしました。



▲鳴門海峡の潮流を再現した水理模型と巨大壁面・球体映像が幻想的な空間を演出

同改修工事は、県から同施設の移譲に係る交付金を活用し、1億7571万6千円で老朽化対策と、1億7280万円ですずしお科学館のリニューアルを行いました。

特におすすめゾーンでは、鳴門海峡での渦潮の発生メカニズムを忠実に再現した水理模型や巨大壁面・球体映像が幻想的な空間を演出。また、体験学習ゾーンでは子どもが遊びながら学べる渦型遊具もあり、幅広い年齢層の人に満足していただける施設となっています。

同館は、年中無休で午前9時～午後5時まで。入場料金は、大人500円、中学生200円、小学生100円、未就学児無料。

うずしおの丘

大鳴門橋記念館  
52・20000

### 自治総合センターのコミュニティ助成事業活用事例紹介

沼島南区自治会と沼島中区自治会では、宝くじの収益を財源とした「一財」自治総合センターの「平成28年度コミュニティ助成事業」を活用し、だんじり備品の修理と新調を



▲助成事業で新調された、吹流し

行いました。

#### ◎沼島南区自治会

吹流しの新調、屋根板の修理

#### ◎沼島中区自治会

水引幕の新調、太鼓の張替



▲助成事業で新調された、だんじりの水引幕

### 志知駐在所が新設されました

南あわじ警察署の高屋駐在所の老朽化に伴い、志知鉦「陸の港西淡」の隣接地に移転新設された「志知駐在所」。



▲移転新設された志知駐在所

3月7日に開所式が行われ、地元自治会長ら約20人が出席し、地域の安全安心を担う拠点の完成を祝いました。

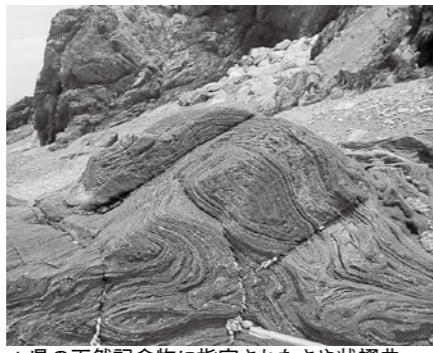
開所式では、橋本真佐男南あわじ警察署長が「地元の一員として迎えていただき、困ったことや心配事があれば気軽に相談してほしい」とあいさつ。妻と子ども2人で駐在する辻内勇摩巡査長は「地域に親しまれる駐在所を目指します」と決意を述べました。



▲辻内巡査長とご家族

### 沼島のさや状褶曲が県天然記念物に

沼島の黒崎海岸にあるさや状褶曲が、この度県の天然記念物に指定されました。



▲県の天然記念物に指定されたさや状褶曲

状に突出して出来た褶曲で、地表でこのような地殻変動の痕跡を確認できる場所は世界でも数例と大変珍しいものです。写真では、さや状部分

が削りとられ地層が同心円になっ

この褶曲は、潮の満ち引きで水没するため、近くで観察できる日が限られています

が、大潮の日を中心に数日観察が可能です。

現地は迷いやすく大変危険な場所にあるため、観察したい人は観察可能日の確認も含めガイドの同行をおすすめします。

この褶曲は、潮の満ち引きで水没するため、近くで観察できる日が限られています

が、大潮の日を中心に数日観察が可能です。

### 災害時の浄化槽等復旧に応援協定

災害時被災地で各家庭や市で保有する浄化槽等の復旧にかかる応援協定を3月1日、一般社団法人兵庫県水質保全センターと締結しました。

同センターは、県知事より浄化槽の水質などの検査機関として指定を受けており、浄化槽のメーカーや工事業者、保守点検業者、清掃業者らが

### 阿万地区で単独防災・避難訓練

南海トラフ巨大地震による津波浸水が想定されている阿万地区で2月19日、阿万地区単独防災・避難訓練を実施。

同地区の連合自治会と消防団、地域づくり協議会、公民館が主催し、地域を挙げて避難訓練等に取り組みました。



▲2次避難所の阿万小学校体育館に集まる住民ら

午前8時に避難を呼びかけるサイレンが鳴り、住民は各自治会で決めている1次避難所へ。その後、津波が落ち着いたと仮定し、2次避難所の阿万小学校体育館まで徒歩で移動しました。また、消防団員は避難路危険個所の把握と、長距離無線による情報伝達訓練等を行いました。



▲豚汁の炊き出しをする自治会女性部

### 寄附

福良不動産の代表である内海寛信(信太郎)さんが2月23日、平成29年1月5日の寒の入り、2月3日の寒の開きまでの寒行(各信者宅を托鉢)の浄財を福祉のために活用して下さいと浄財を寄附されました。ご寄附ありがとうございました。

～ 新しい夢の『はじまり』を創るために ～  
**「安心・安全・信頼」の解体工事はお任せください!!**

お気軽にご相談を...  
**松井開発運輸株式会社** 検索

※お見積りは無料です  
 南あわじ市湊1354 TEL 0799-36-5078